

いさやま大介

決算特別委員会
活動風景



▶ 平成30年9月 局別審査

▶ 同左

地元の課題に取り組んでいます！

○鶴甲会館を活用した鶴甲団地の今後 について 地域

「鶴甲まち開き 50 周年記念事業」

が盛大に行なわれている鶴甲団地。

リニューアル予定の「鶴甲公園」内での整備が進めら

れている「鶴甲会館」および、それらを軸とした

今後のまちづくりについて質疑。



↑ 鶴甲まつり（9月）の様子

児童館、図書コーナー、音楽室、各種会議室などの機能を備えた会館について、

どのように地元の意見を反映させたか、今後の運営は、など。

★ 学生時代を鶴甲キャンパスで学びました。この地域のさらなる魅力向上を！

○「まやビューライン」と「六甲ケーブル」について 交通・観光

過去2年間における運行社会実験において、実施期間の乗車人数が例年比2倍から6倍と大幅な増加結果となった。

その総括を観光施策および通常の料金体系にどう反映させるのかを質疑。（以前よりの継続内容）

★ 月1回、大人ワンコイン500円・こども無料などファミリー層が利用しやすい仕組みづくりを要望。イニエスタ選手も訪れる摩耶山を盛り上げます！



新しい発想で、課題解決を！

○須磨海岸のバリアフリー化 について 福祉・観光

NPO 団体「須磨ユニバーサルプロジェクト」は、丈夫なビーチマットを活用して、車いすやバギー利用者が海まで行けるようサポートをする活動をしている。

この事例を含めて、須磨海岸のバリアフリー化について質疑。

★ 新しい発想で課題解決を目指す団体を応援しています！



ビーチマットを敷いた須磨海岸

○神戸の自然を生かした「ワーケーション」について 移住

移住施策に関し、2拠点型・多拠点型で活動するフリーランス誘致について質疑。

デザイナー・クリエイターといった「都市型創造産業」集積の具体策の1つに「ワーケーション」〔ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を掛け合わせた造語〕がある。

今後、海・山・里山といった神戸の魅力あるロケーションを活用した「神戸ワーケーションプログラム」が実施されるとのこと。

○モデル型商店街・市場 について 暮らし

商店街・市場に派遣されている「応援隊」およびモデル型商店街・市場について質疑。

アレルギー表示に有効な「フードピクトグラム」を活用した在住外国人・子育て世帯への対応型や来店予測AI活用型など、新しい発想や技術を取り入れたモデル型商店街・市場の研究を要望。



↑ピクトグラムを用いた表示方法

○消防局の広報 について 防災

「youtube」を使った動画配信など、消防局の効果的な広報について質疑。フジテレビKIDSと連携して作成した動画「ガチャピン・ムックの火の用心」は、神戸の観光・グルメの要素を取り入れ、企業等の協賛・協力により公費を使わずに制作。新しい発想の広報を！



↑消防局の広報動画より